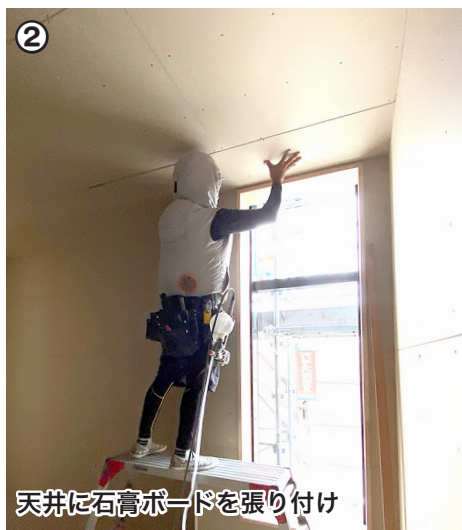




石膏ボード



天井に石膏ボードを張り付け

進捗
報告

法蓮寺様 納骨堂



完成イメージ（外観）



工事部 課長
足達哲也

完成イメージ（内装）



1階 階段下に箱庭



2階 アルポリックパネル

●**条例に沿った耐火構造**
 建物の特徴とすると、由布市の条例に沿った耐火構造です。壁・天井・外壁と通常の3倍以上の厚さで石膏ボード（写真①）を張っています。

12月末には完成予定です。これからも安全第一で、日々丁寧に工事を進めてまいります。

三光建設工業では様々な建設に携わらせていただいております。今回は、法蓮寺様（大分県由布市）の納骨堂新築工事の進捗をご報告させていただきます。

●**階段の下には箱庭**
 内装の特徴は、階段の下に箱庭があること。（写真③）また、2階にはアルポリックパネルの天女の絵があり（写真④）建具の引き出しとなっています。

現在、天井にボードを張っています。（写真②）火事が起きても1時間耐えられ、その間に避難できる建築物です。屋根・外壁にはガルバリウム鋼板という錆びにくい素材を使っており、黒を基調としたモダンな納骨堂となっています。

耐火構造を備えた納骨堂建設

大阪出向で培う 経験と新たな成長

出向社員レポート 永塚啓児編



新しい環境で視野を広げて経験を重ねています

昨年11月に出向の辞令を受け、今年1月末から大阪で現場監督を務めている永塚啓児（工事部 課長）のインタビューをお届けします。

（永塚）現在は、大阪市淀川区にて、9階建て32戸の分譲マンション（写真①）を建設しています。現場が市街地であるため、狭小地ならではの施工方法の学びを深めています。大分での今までの現場とは異なり、初対面の方々と共に作業を進めているため、伝えたことがきちんと理解されているのかを確認しながら進める

ことを意識しています。大阪で初めて経験したことは、基礎工事後の埋戻しに、流動化処理土（建設現場から出る土や建設汚泥などに水やセメントを混ぜ、高い流動性を持たせた改良土）を使うことです。（写真②）また、タワークレーンの基礎で、根固めにH形鋼まわりをセメントミルクで満たすやり方も初めての経験でした。（写真③）この方法なら大きく掘削する必要がないので地上で作業が出来、作業計画が簡易になることや、近隣への影響が少ないといった

メリットがあり、市街地に適した方法だと思いました。分譲マンションは、来年の6月末には引き渡し予定です。

これからも、新しい環境で視野を広げて経験を積み重ねて、より良い建物作りを追求していきます。

大阪出向者による交流会



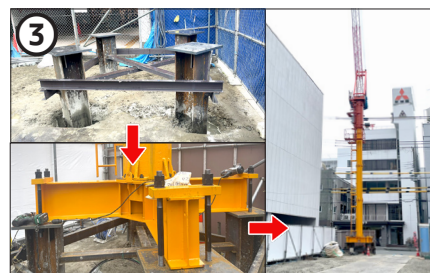
月に1度は交流会を開いています



① マンションの完成イメージと現在の様子



② 流動化処理土を使用しての埋戻し



③ タワークレーンの基礎

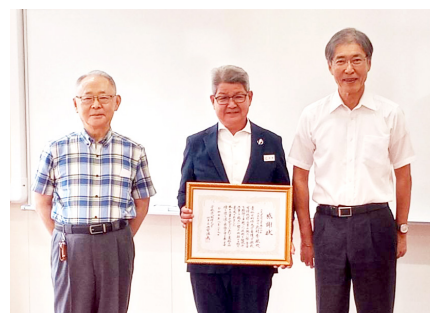
（仮称）

別府大学看護学部既存棟改修工事

引渡し式と完成披露

先日、『（仮称）別府大学看護学部既存棟改修工事』が完了いたしました。引渡し式と完成披露が行われました。完成引渡の際には、別府大学

二宮理事長より感謝状をいただきました。弊社の北村社長は「工事に対するご丁寧な感謝状を賜り、誠にありがとうございます。私どもの取り組みをご評価いただき、このような形でお認めいただけたことを、社員一同、大変光栄に思っております」とご挨拶をさせていただきました。



編集
後記

10月号では進行中の工事の進捗を特集しました。私たちはこれからも安全第一を徹底し、一つひとつの現場に誠実に向き合いながら、安心いただける建物づくりに努めてまいります。



HP & SNS で最新情報発信中！

三光建設工業のホームページやフェイスブックページで、最新情報を発信しています。ぜひこちらもご覧ください。



HP



FB



最新情報
発信中！